

第7回 Clinical & Basic Research Forum

日時：平成29年7月15日（土） 17:00~19:00

会場：ホテルザマンハッタン 2階 「ルーナ」

千葉県千葉市美浜区ひび野2-10-1 TEL：043-275-1111

PROGRAM

*会終了後、情報交換会をご用意しております

メーカーセッション

「 膠原病・リウマチ性疾患における骨粗鬆症治療の実際 」

東邦大学医療センター佐倉病院 膠原病内科 臨床教授 熊野 浩太郎 先生

症例報告

「 胸腺腫に多彩な免疫異常を伴った慢性下痢の一例 」

千葉大学医学部附属病院 血液内科 長井 友莉恵 先生

研究報告

「 腎間質細胞における転写因子Tcf21の機能解析 」

千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学 井出 真太郎 先生

特別講演

座長： 千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学 教授 横手 幸太郎 先生

『 Klothoが紡いだ生命の糸を解きほぐす

— 認知症、骨粗鬆症などの加齢に伴う疾患の克服を目指して —

先端医療センター センター長 鍋島 陽一 先生

【 鍋島 陽一 先生 ご略歴・ご紹介文】

鍋島陽一博士は昭和47年に新潟大学医学部を卒業、学生時代より興味をもっていた生命科学研究を志して大学院（生化学）に進んだ。鍋島陽一博士はマウス、ショウジョウバエの分子遺伝学を基盤としつつ、多面的な解析手法を組み合わせる研究を展開した。その研究は Alternative splicing により1遺伝子から複数のタンパク質が合成される機構の発見、筋細胞の増殖・分化・再生を制御する遺伝子プログラム、並びに中枢神経系の発生、形成を制御する遺伝子プログラムの研究、幹細胞制御の分子機構の研究を中心とする「動物個体の発生・形成の分子機構に関する研究」、ならびにKlothoファミリーの発見とその生理機能、分子機能の解析を基盤とした「動物個体の恒常性維持機構の研究」に大別される。いずれも生命科学の基本原則の解明に関わる重要な研究であり、国際的に高く評価されている。

本会では、生命現象の神秘に魅せられ、その基本原則の解明を追い求めてきた足跡を振り返って頂くと共に現在進行中の研究のダイナミックな展開についてご講演頂きます。

世話人(敬称略・施設氏名五十音順)

代表世話人

千葉大学 細胞治療内科学

横手幸太郎

千葉大学 代謝生理学

三木 隆司

世話人

国際医療福祉大学

中世古知昭

国際医療福祉大学

竹本 稔

千葉市立青葉病院

山本 恭平

千葉大学 血液内科

堺田恵美子

千葉大学 分子病態解析学

田中 知明

千葉東病院

西村 元伸

千葉ろうさい病院

三村 正裕

東京女子医科大学八千代医療センター

橋本 尚武

東京都健康長寿医療センター

森 聖二郎

東邦大学医療センター佐倉病院

龍野 一郎

成田赤十字病院

青墳 信之

事務局

千葉大学 細胞治療内科学

前澤 善朗